

## まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会

### 第2回皇居周辺地域委員会 議事録

平成24年3月26日（月）に「まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会 第2回皇居周辺地域委員会」が開催され、「皇居周辺の現状調査結果」についての報告を行うとともに、各委員との意見交換を実施しました。

#### 第2回皇居周辺地域委員会 意見の概要

説明	皇居周辺の現時点での利用状況調査
<p><b>【調査内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歩道交通量調査、利用者の聞き取り調査やアンケート調査</li></ul> <p><b>【調査結果】</b></p> <p>（歩道交通調査量の調査結果について）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・利用者は平日・休日とも1万1000人強だったが、平日は18～21時の3時間が突出して多く、休日は7時～18時までの時間帯が混雑していた。</li><li>・平日の交通量の多い時間帯は、ランナーやスポーツウォーキングが多く、散策や観光目的の訪問者や自転車歩行者はほとんどいなかった。</li><li>・休日の昼の時間帯は、ランナーのみならず散策・観光客も含めて平日よりも歩行者は多かった。</li></ul> <p>（皇居外周競技会等利用状況について）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・桜田門前広場を利用するには、管理者である環境省皇居外苑管理事務所に届け出ることになっており、申請利用者数としては、平成19年度2月に始まった東京マラソンの影響か、平成20年度から相当の勢いで増加傾向である。</li><li>・平成22年度の利用者は、約63,000人（平成17年度比で1.6倍）である。</li><li>・競技会等の月別割合をみると、気候のよい春季（3月）や秋季（11月）の利用が多く、夏季以外の10月～5月に幅広く集中している。</li></ul> <p>（皇居観光等の利用状況について）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成23年度は東日本大震災の影響で減少したが、最近は回復傾向である。</li><li>・皇居東御苑の入場者数においては、約95～96万人である。</li><li>・入場者の月別割合をみると、4月が最多人数であり、桜や新緑時季の春季（3～5月）あるいは紅葉時季の秋季（10～11月）が多い傾向である。</li><li>・皇居外苑駐車場における観光バス台数は、平成22年に増加したが、平成23年には東日本大震災の影響で減少している。</li><li>・観光バスの利用は春季（4月）や秋季（10月）に集中する。</li><li>・近年は中国や韓国といった海外の観光バスが多く、特に中国人観光客が多い傾向である。</li></ul>	

#### (ランナーの聞き取り調査・アンケート調査結果について)

- ・ランナーに関する回答数は302件で、男女比は6.5 : 3.5程度である。
- ・ランナーの年齢層は20～40代が多く、全体の75%を占めている。
- ・勤務地は、千代田区内が最多で、その他近隣区である中央・港・新宿・文京・台東が多い。
- ・居住地は、千代田区内あるいは近隣区はむしろ少なく、都内居住者や東京都外在住者が多い。
- ・皇居を利用する頻度は、週1～2回の利用者が33%と多いほか、週3～4回や毎日という人もいることから定期的に利用する人が多い。
- ・皇居を利用する曜日は、平日(9～11%)よりも休日(土曜日:21%、日曜日:14%)の方が多。
- ・皇居を利用する理由は、「信号がなく走りやすい」、「距離が5kmとちょうどよい」、「勤め先に近い」、「緑が多い」、「景観がよい」ことを挙げる人が多い。
- ・皇居を走る際にタイムを計っている人が、全体の76%いる。
- ・ランナーの82%が混み合っていると感じている。
- ・ランナーサポート施設等連絡会で提案・周知している「皇居ランナーマナー“10”の宣言」を知っている者は約5割で、知らない者は約3割強いる。
- ・「皇居ランナーマナー“10”の宣言」の中で実際に実践していることでは、「反時計回り(に走る)」、「左側走行を心がける」の割合が多い。
- ・一方で「追い抜きや追い越しの際の「声かけ」、「音楽プレイヤーを控える」といった項目は実践しにくい傾向である。

#### (歩行者の聞き取り調査・アンケート調査結果について)

- ・回答数は194件で、男女比は6 : 4である。
- ・年齢層は50代以上が多く、歩行者の約50%が散策目的である。
- ・歩行者の約54%が「歩行中に危険を感じたことがある」と回答し、そのうち54%がランナーに対して、37%が自転車に対して危険だと感じている。

#### (接触状況の聞き取り調査・アンケート調査結果について)

- ・ランナーの37%が未遂も含めた接触を経験し、そのうち53%がランナー同士である。
- ・歩行者の26%が未遂も含めた接触を経験し、そのうち76%がランナーとのものである。
- ・ランナーの接触(未遂も含む)が多い時間帯は、昼間の14時台と夜間の19～20時台である。
- ・歩行者の接触(未遂も含む)が多い時間帯は、昼間の14時台である。
- ・接触した場所については、皇居1周を9区間に分けたうち最多区間は、代官町首都高入口～千鳥ヶ淵公園交差点間であり、次いで桔梗前交番～和気清麻呂像広場(気象庁前)間が多い。
- ・桔梗前交番～和気清麻呂像広場(気象庁前)間で接触が多い理由は、皇居東御苑の入口(大手門)があるため観光客が滞留していることが理由として挙げられる。

#### (道路現況について)

- ・道路勾配は、比較的平坦で勾配は2～3%である。

・道路幅員は、接触事故が多かった代官町首都高入口～千鳥ヶ淵公園交差点間が狭く、歩道有効幅員は1.9～2.3mである。

・二番目に多かった桔梗前交番～和気清麻呂像広場（気象庁前）間の歩道有効幅員は3.1m程度で、調査期間中は工事中であった点や比較的観光客が多い点から危険性が増しているようである。

#### 【その他】

##### （パレスサイクリングについて）

・パレスサイクリングは日曜日に限り、内堀通り祝田橋から平川門までの車道を開放し、サイクリングだけのコースとして利用されている。

・他用途の工夫も行えないか、参考までに説明する。

#### 議事

#### 各委員の意見交換・質疑応答

##### 【皇居外苑管理事務所（桑田委員）】

・（説明資料の補足として）皇居外苑管理事務所への利用申請人数の増加については、「競技会等」となっているが、内容の把握は難しく、すべてが競技会とはいえない。

・傾向としては、何度も利用する団体が多いため、その回数もしくは1回あたりの人数が増えたという状況であり、初めて申請してくる団体は少ないため、特に大きな変化はないようである。

・アンケート結果の中で接触状況の報告があったが、管理状況下で大きなトラブルや事故はない。

・千鳥ヶ淵公園を集合場所とする団体は、当方だけでなく千代田区にも、また大会になれば警察署にも届け出ているはずなので、今後は一括して集計できればよいと考える。

##### 【区道路公園課（小山委員）】

・当方で管理している代官町通りは、文化財である石垣があるため特に狭くなっているところで、利用者が輻輳していることは、何らかの課題として受け止める必要がある。

・しかし歩道の抜本的改修となると、一定の時間がかかる。

・安全面からもランナーには少し余裕を持っていただくなど、歩行者への配慮をお願いしたい。

・皇居周辺利用の目的や意識が多様なので、様々な利用者同士の相互のコミュニケーションについてが、課題と思われる。

##### 【都第一建設事務所長（相場委員）】

・都道の部分の中でも、千鳥ヶ淵交差点～半蔵門間は、（自動車の）交通量も多いため、車道を削ることは困難だが、隣接する千鳥ヶ淵公園との組み合わせで多少の改善の余地があるので、今後の議論になると感じた。

・都道の祝田橋～竹橋間は、東京の顔となる道づくりとして、大手門から先のところでシンボルロード事業の工事を行っており、全体整備が終わるまでに2年かかる。

・（二番目に多かった）桔梗前交番～和気清麻呂像広場（気象庁前）間で歩行者との接触が多いのは、すなわち皇居の正門であるためと思われるが、中国人観光客が多いならば中国語での危険表示をすればといった工夫で少しは変わってくるように感じる。

### 【東京国道事務所（渡辺委員）】

- ・国道の話以前に、課題に対する決め手となる対策を出すのは難しいと思う。
- ・そうすると、何か総合的な対策で組み合わせながら考えて分類すると、「マナー」、規制ほどでない「一定のルール」、「幅員を増やす」の三つの対策があると考ええる。
- ・「一定のルール」の例を挙げると、内堀通りの二重橋前などで極力自転車は、ランナーが走っている内側の歩道でなく、対面側のように自転車・歩行者道と歩行者道がしっかり分かれている歩道に通行してもらおうといった自転車の奨励ルートを規則的な対策としてつくるのはどうか。
- ・検討段階としては、「全体的に検討すること」、「局所的及び集中的に検討すること」に分けられるが、特に接触事故の多い箇所、危険な箇所、ボトルネックみたいな箇所については、特に集中的に検討する必要がある。
- ・危険を回避する話のほかに、「まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会」の名称にふさわしい快適に利用できる提案をできたらよいと思う。
- ・既に皇居周辺には都道府県の花が描かれた平板ブロックが、100mピッチでキロポストとして埋められているが、このような快適なランナー対策などもぜひ議論したい。

### 【警視庁（代理：関根氏）】

- ・調査結果で言っている接触状況はいわゆる交通事故ではないが、これだけ多くのトラブルがあるのであれば、やはり何らかの対策を図る必要がある。
- ・多くの人が同じ空間を使うので、安全に使えるためのマナー向上が大事であり、それが無理ならば、その先も検討しなくてはいけない。
- ・特定の時間にランナーが集中するのであれば、時間帯を分ける方法といったルールでない部分で解決できればよいと思う。

### 【財団法人日本自転車普及協会（田中委員）】

- ・パレスサイクリングは、皇居1周ではなく一部区間だが4車線あり、往復3kmというのは自転車利用者にとっては大変魅力的で、自転車に携わる者にとっても大変ありがたい。
- ・自転車が関係する接触事故の場合、歩行者からは「歩道が広い方が危ない」という意見が多く、ランナーの接触事故とは一致しない自転車特有の問題だが、歩道が広ければ安全とは必ずしも言えない。
- ・昨年10月に警察庁から発表されたように、基本的には自転車は歩道から車道にという方向にシフトしてきているので、その推移を見守りたいが、今後は歩道での自転車と歩行者の接触の増減数も変わってくるかもしれない。
- ・パレスサイクリングの際に車道を走るのは、スポーツ自転車、スポーツバイクに乗ってスピードを出す者が多いため、歩道を走ることは少ない。
- ・自転車で歩道を走るのは、実用車、いわゆるママチャリ利用者が大部分ではないかと思われる。

### 【企業ランナー（前田委員）】

- ・自分自身40代の会社員で、毎週走っている典型的なランナーだが、危険を感じるどころ、走りづらいところで接触事故が起きていることを、接触事故箇所を見て実感した。

・代官町通りは、節電で少し照明が落とされていることや、千鳥ヶ淵交差点～半蔵門間では、道路幅員の問題のほかに、植栽の根を守るための鉄の造作に足をとられまいとして、歩道側の方に偏って走ってしまう問題もあるかと思う。

・平日に起こるランナー同士の接触事故はある意味自業自得だが、休日に歩行者に迷惑をかけている点については、優先的課題であると思う。

・ランナーにとって、5 kmは走りやすい環境である上、皇居で走りたいという夢もあるが、ほかの環境も選べれば、もう少し分散化できて、皇居への一極集中にならないと思う。

#### 【企業ランナー（中川委員）】

・前田委員と同様に、自分自身も接触経験はないものの、危ないなと思うことがあり、接触状況が多いと感じた。

・高齢者率と予防医療の意識が高まり、運動の重要性を感じる人がとても多い中で今後ランナーが増加すると思うので、分散についてはやはり大きな課題である。

・幅員やマナーの向上だけでは耐え切れないという点を考えると、分散するために北の丸公園やほかの地域の方々と健康的なまちづくりの対応を考えていくことが必要だと思う。

#### 【地域ランナー（岩本委員）】

・現状として皇居外苑管理事務所、千代田区、警察の三つに分かれている大会等の把握を一本化すると、1日の大会数や人数を規制できるので、大勢が集中的に走る状況を物理的に避けられると思う。

・ハード面は、対策や改修ができればいいが難しいと思うので、やはりマナー向上をみんなで考えたいと思う。

#### 【社団法人日本ウオーキング協会（西田委員）】

・自分自身皇居周辺を月3～4回利用するウオーカーだが、皇居まわりを犬の散歩で歩いていた歩行者に一番困っていることを聞いたところ、「タイムトライアル等でスピードを出すランナーを減らしてもらえるとありがたい。」と強く話していた。

・「皇居ランナーマナー“10”の宣言」は、ランナーが知っているだけにとどまっているようだが、皇居周辺は観光客も多くいるので、そのマナーを利用者みんなで守るのが一番大事だと思われる。

・ウオーカーやランナーの多くは、「利用させてもらっている」という気持ちで歩いたり走ったりしていると思うので、皇居外周に「歩道はランナー専用ではありません」というランナーに対する注意喚起の表現があったが、こういった否定的な表現でなく、「みんなで気持ちよく利用しましょう」といった肯定的な表現の方がいいのではないかと思う。

・私たちウオーカーは、歩く目線でまちの魅力を発見し、交流も生まれやすいスポーツとして行っているが、ランナーも観光客に譲り合いの気持ちを持ってもらいたいため、ランナー・ウオーカー・観光客の三者で共用できる10か条宣言もあるとよい。

・岩本委員の意見同様に、分散化を図るに当たっては利用申請システムの共有化や、実際に制限をする等のルールも考えていくことが必要だと思う。

### 【ランナーサポート施設等連絡会（浅川委員）】

- ・皇居外周協議会等利用件数については、多分桜田門前広場を通過する場合でも皇居外苑管理事務所に申請する必要があるため、皇居外苑管理事務所が相当な利用者数情報を集約しているはずである。
- ・また道路使用許可を出すときには皇居外苑管理事務所の申請書もつけることになっているので、そこさえ名寄せすれば多分正しい数字になると思う。
- ・皇居では使用料が要らないため、大会運営もそれをうまく利用している団体と、遠慮している団体があり、それが苦情や不公平感につながっているように感じる。
- ・観光客、楽しみながらゆっくり走りたいランナー、大会を含めたイベントで集まる方々が土日に重なっているのが問題の本質のようなので、そのあたりの改善が必要である。
- ・走る側からすると、最近歩道の整備が進んでいるのは実感しており、ありがたい。
- ・代官町首都高入口～千鳥ヶ淵公園交差点間では足元が非常に暗いので、フットライトがあれば夜間の接触事故が少なくなると思う。
- ・当団体では、ランナーから募金を行い、フットライト等に充ててもらえれば協力したいという話もあるので、実現可能かは不明だが提案したい。
- ・ランナー同士のマナーの問題だが、千鳥ヶ淵交差点付近の狭い歩道で追い抜きをするランナーがいるが、なかなか注意しづらい。
- ・今回の接触事故データなどを示して、きちんとランナーにも周知して投げかけてもらえれば、具体的に言いやすいと思う。

### 【千代田区陸上競技協会（井筒委員）】

- ・今マナーが非常に守られていない状況であるが、道徳心にもつながるので、もう少し周知してほしい。
- ・「皇居ランナーマナー“10”の宣言」を印刷して、近隣の会社等に配布すれば、マナーの認識が高まるかもしれない。
- ・当方が年2回行っているロードレースと駅伝は、長い歴史を考えるとやめるわけにはいかないので、何とかうまくレースが運べるように対策を講じたい。
- ・対策案として、例えばジョギングの人には1日置き、1週間のうち3日だけの利用に制限できないか。
- ・また歩行者ぶつからないようにランナーの一方通行を厳守することや、スピードを出して走りづらくするために、歩道にポールを何箇所かに設置したらどうかと思う。
- ・当団体では、大会の際には代官町通りの一番狭くなる箇所を審判員を倍増し、参加ランナーに対しても注意を呼びかけて事故のないようにしている。
- ・昨日、高尾で行われた大会に審判員として出席したが、非常にいい雰囲気だったので、ランナーには皇居一極集中ではなく、ほかの場所で走ることも推奨したい。

### 【皇居ランナー指導者（谷川委員）】

- ・中川委員からもあったように、皇居だけではなく北の丸公園や日比谷公園等へ分散化を促すことを提案したい。
- ・日本全国を走っているが、今5kmを夜間でも安全・安心に夜中走れる場所というのは皇居以外になるので、例えば河川敷等であっても同様に走れる場所をつくってもらえれば、土日曜日でも皇居に集中

することはないと思う。

#### 【千代田区連合町会長協議会長（鎌倉委員）】

- ・いつも皇居を利用している委員の実感から、ポイントは三つ、①マナー、②開催日時、中でも競技会関係の調整、③歩道のどちら側を使うかなどといったルールをつくるのが大事だと感じた。
- ・「皇居ランナーマナー“10”の宣言」を知らないランナーが約3割強もいるので、印刷物を近隣企業へ配布するという提案もあったが、団体に所属せず個人で走っているランナーへの周知が特に必要だと考える。
- ・3月30日から開催されるさくらまつりでは、観光客がかなり増える見込みなので、ランナーとの混雑を避けるための対策を千代田区には検討してもらいたい。

#### 【藤本副委員長】

- ・今勤務している千鳥ヶ淵付近周辺には詳しいが、毎日皇居周辺を回っているような方の意見はよく分からないところがある。
- ・事務局の方で意見を整理する際に、ハード面の対策、ソフト面の対策、その両方を踏まえてどういう連携や発信をするかの三つに分け、なおかつユーザー側と管理者側からの視点やできることには何があるのか、といったマトリックスをつくると、漏れがなく新機軸が見つかるかもしれない。
- ・それらの検討の際には、ユーザー側とサービス側と一緒に現地を見ていくと、その意見も漏れなく整理されると思う。
- ・同時に実態のデータベースがないといけませんが、ヒヤリハットの数字を始め、今日はデータ数が少なかったので、クロス集計をするためにも平日と休日とでの違いを含めるなど、データをもう少し充実してほしい。

#### 【森野委員長】

- ・副委員長指摘のとおりデータがやや不足しており、今回は歩道だけに話を絞ったものの、今後は周辺の自動車交通量のデータがないと語れないと考える。
- ・歩道に関しては、自動車の交通流や交通量も踏まえ、いろいろ折り合いをつけていく必要がある。
- ・空間あるいは時間的に分散化を図ることが大きな課題なので、ランナー、ウォーカー、自転車、相互のコミュニケーションをより深めていくことを平成24年度の検討課題とし、今後も調査を含めてさらに進めていきたい。

#### 【環境省皇居外苑管理事務所（桑田委員）】

- ・これまでの意見に対する回答を含め、以下の確認と説明を加えたい。
- ・浅川委員から指摘のあった「大人数で他の集合地点から桜田門を通過するケース」は、当方にも届け出るよう、千代田区を通してお願いしているところである。
- ・ルート分散に関してだが、当方所管の北の丸公園での競争利用は現状受け付けていない。
- ・団体所属でも個人でも時間設定して走るランナーがいる限り、ハード面の改修のみで問題が解決するとは思えない。

・逆に発想を変えて、速く走りづらい、レース等をしづらい環境や状況をつくることで危険なことが改善されていくかもしれない。

**【事務局】**

- ・平日の夜間や休日の昼間にランナーが集中しているといったポイントがはっきりしてきた。
- ・ソフト面のマナーやルールという話のほかに、ハード面として走りにくくするか、危険箇所の改修か、両方あると思う。
- ・次回は、ポイントを大きな課題として今後の対応策や方向性について議論を深めていきたい。
- ・第3回皇居周辺地域委員会の開催については、夏前の平成24年6月か7月頃を予定している。

(閉会)

《発言記録作成：まちづくり推進部景観・都市計画課》